

新規就農者の技術研修

畜産センターでは、新たな畜産の担い手の経営向上を目的に、新規就農者を対象とした研修を実施しています。

平成 27 年に舞鶴市西方寺で就農し、現在 3 頭の繁殖雌牛を飼養している方から「これまで日頃の飼養管理等について独学で学んでいたが、専門機関で技術や知識を習得したい」という要望を受け、当场で飼養管理技術の研修を行いました。

発情徴候の確認方法や人工授精で交配する精液の選び方、削蹄（牛の爪切り）の重要性、子牛の体調確認方法などについて研修したところ「初めて知ったことも多く、今後の管理に役立てたい」と述べられていました。



発情牛を使った発情徴候の確認



削蹄技術のポイントを確認